

第 20 回一般社団法人日本義肢装具士協会学術大会に参加して

開催日：平成 25 年 7 月 13.14 日

開催地：沖縄コンベンションセンター

今年も義肢装具が熱い季節がやってきました。今年の学術大会は沖縄で開催され、当社からは 6 名が参加してきました。そのうち 1 名が研究発表し、また弊社代表取締役社長が功労賞の栄誉をいただきましたので、学術大会内容を含めてご報告させていただきます。

今年の学術大会は第 20 回という節目であり、これまで培ってきた義肢装具と、これから先の進化する義肢装具のどちらも大事にしながら切磋琢磨していこうという意味をこめて、『温故知新』がテーマでした。研究発表や招待講演もテーマにふさわしく、また展示場には戦争の頃の義足から、最新鋭で高性能の義肢装具まで展示されていました。実際に手にすることで、技術の進歩や、どれだけ進歩しても絶対に忘れてはいけない基礎の部分「適合感、使用者様の望みに応える」ことは永遠に変わらず持ち続けなければならないと感じました。

さて、当社の研究発表をご報告させていただきます。我々は日頃より、義肢装具使用者様が少しでも快適に装着してもらうにはどうするべきか？を考え、製作に取り掛かっています。しかし、やはり身に付けるということは煩わしいものであり、特に身体をプラスチックで包むようなものは、暑さが問題になるとよく聞きます。今回は新素材に着目し、少しでも快適な温度を保てるよう研究を行いました。まだまだ研究段階であり、実用化するには課題が多く残っていますが、新しい素材に目を向けたことは、今までの当たり前を覆すきっかけになったかと思っております。詳細は研究レポートに載せていますので、よろしければご覧ください。

そして、文頭で報告させていただいたように、弊社代表取締役社長が第 2 回 PO アカデミー賞功労賞を受賞いたしました。これは、義肢装具士協会の発展に尽力したことが認められた賞であり、社員の私たちは誇りに思っています。私たちはこのような大会やセミナー、学会誌などを通して勉強し、使用者様へアプローチさせていただいています。今後も、勉強を続け、使用者様からのフィードバックを大事にし、よりよいものを提供できるよう努めていきます。

義肢装具士 金森晴香



沖縄コンベンションセンター前



功労賞受賞式

(右：坂井会長 左：弊社社長)